

投資顧問業者登録番号
近畿財務局長 第148号

IPO
culture
アイピーオーカルチャー

今 行く道がある
明日に続く道がある。

Initial Public Offering

会 員 情 報

銘柄情報 浮動株数予測 初値予想
比較表分析資料 セカンダリーの窓

ホームページ <http://ipo.bz/> お問い合わせ先 toiawase@ipo.bz

この資料は投資を勧誘するものではありません。投資はご自身の判断でお願い致します。

銘柄情報

作成 2005/12/7

銘柄	ジェイコム(2462)	市場	マザーズ
想定価格	58万円	調達額	18.3億円
公開株数	A 3,000株	単位	1株

(記号のAはオーバーアロットメント付き、Mはマーケットメイクです)

同社「総合人材サービス事業」および「マルチメディアサービス事業」を行う。
総合人材サービス事業は、携帯電話業界にほぼ特化しており、通信キャリア及び携帯電話販売代理店を中心に営業支援サービス等を提供している。
マルチメディアサービス事業は、関西地区において携帯電話ショップ3店を運営し、携帯電話の販売、加入契約取次代理店業務を行っている。

幹事予定証券会社

(幹事証券会社は変更になる事があります)

証券会社	予想引受け%	引受け予定株数	支店配分予想(口数)
日興	70 %	2,100	8~16
大和SMBC	10 %	300	1~3
みずほ	7 %	210	ホールセール
三菱UFJ	4 %	120	0~1
高木	3 %	90	2~5
E・トレード	2 %	60	ネット配分 60
マネックス	1 %	30	ネット配分 30
楽天	1 %	30	ネット配分 30
コスモ	1 %	30	0~1
岡三	1 %	30	0~1

(証券会社情報は会員ページをご覧ください。記号のAはオーバーアロットメントを含んだ数値です。)

岡本社長「携帯電話の加入台数は現在約9,000万台。5年前で約4,000万台、10年前は約1,000万台でしたから、それこそ倍々ゲームくらいで伸びてきたわけです。一方で、人材サービス業界へのニーズもここ近年急速に高まってきている。販売台数が伸びれば、当然それに従事する人材が必要となります。当社はそのモバイルマーケットに特化した人材を提供することで、携帯電話の需要、人材サービス業界の隆盛とともに成長してきた。しかし、現在の加入台数がほぼ飽和状態にあることから、モバイルマ

ーケットが衰退するのではないか?という疑念を抱く方もいる。現在の機種変更のサイクルは1年数ヶ月ですが、日々進化する機種の登場により、そのサイクルも短くなるでしょう。さらに、ナンバーポータビリティにより機種変更意欲も刺激されることから、携帯電話業界ではより販売力の高い人材が求められ、営業支援サービスはまだまだ成長の余地を十二分に残している。」

業績推移

単位100万円、1株利益と配当は円

決算期	売上高	経常利益	利益	1株利益	配当
2004.6	3,271	141	56	93,343.22	0.00
2005.6	4,684	281	152	12,693.40	0.00
(予)2006.6	6,446	502	263	18,137.93	0.00
(予)2007.6	7,800	700	500	34,483.00	0.00

仮条件

55万円～61万円

仮条件は予想された範囲で決まった。問題はないだろう。

浮動株数予測

3,000株

公開株数	3,000株
ベンチャーキャピタル持ち株	200株(ロックアップ有り)
新株予約権行使期間入り株数	0株
既存株主のロックアップ割合	29.67%

比較表分析

評価

類似企業は、バックスグループ、ピーアンドピーなどが近いと思われる。アルファグループはビジネスモデルが少し違うようだ。

各種利益率や成長率、時価総額等で割安感が強くでる。来期業績予想でも成長スピードが落ちない。

携帯電話関連としてよりもアウトソーシング関連として評価をするべき銘柄で、類似企業よりも高い評価を付けたい。

尚、注意銘柄とはしていないがハイパースピードマネーが入る可能性もある。

評価表の記号説明

は公募価格に対して初値が99%の確率で上がると思われる

は公募価格に対して初値が95%の確率で上がると思われる

は公募価格に対して初値が80%の確率で上がると思われる

は公募価格に対して初値が60%の確率で上がると思われる

× はリスクが大きいと思われる

市場	マザーズ	ジャスタック	ジャスタック	セントレックス	ジャスタック	ジャスタック
会社名	ジェイコム	パックスG	P&P	クロップス	SKI	アルファG
コード	2462	4306	2426	9428	9446	3322
ランク	ACD	BAC	BAC	CCC	CCC	CCD
今期経常成長率	79%	40%	42%	41%	やや回復	大幅減益
来期経常成長率	39%	25%	26%	6%		42%
今期-EPS(円)	18,138	2,365	7,498	44	5,125	170
来期-EPS(円)	34,483	3,041	9,202	46		18,109
売買単位(株)	1	1	1	1000	1	1
決算月	5月	3月	3月	3月	9月	3月
配当金(円)	¥0	¥2,500	¥900	¥3	¥3,000	¥0
配当利回り	0.0%	2.2%	0.2%	0.5%	2.1%	0.0%
発行株数(株)	14,500	147,983	29,340	10,160,000	21,464	29,344
浮動株%	21%	20%	19%	15%	35%	30%
時価総額(百万円)	17,400	16,722	14,846	6,096	3,134	6,074
時価総額/経常利益	34.7	26.1	35.3	7.0	13.6	607.4
従業員数(人)	64	122	97	420	262	166
株価(円)	1,200,000	113,000	506,000	600	146,000	207,000
今期 PER	66.2	47.8	67.5	13.5	28.5	1214.8
来期 PER	34.8	37.2	55.0	13.0		11.4
売上げ(百万円)	6,446	8,900	6,000	16,800	12,500	12,469
営業利益(〃)		650	420	900	220	10
経常利益(〃)	502	640	420	870	230	10
利益(〃)	263	350	220	450	110	5
総資本(百万円)	1,183	2,272	1,688	4,135	4,159	5,044
株主資本(〃)	380	1,401	1,021	834	1,470	1,989
有利子負債(〃)	59	25	0	899	1,250	805
株主資本比率	32%	62%	60%	20%	35%	39%
1株資産(円)	¥26,207	¥9,467	¥34,799	¥82	¥68,487	¥67,782
PBR	45.79	11.94	14.54	7.31	2.13	3.05
総資本利益率	22.2%	15.4%	13.0%	10.9%	2.6%	0.1%
株主資本利益率	69.2%	25.0%	21.5%	54.0%	7.5%	0.3%
営業利益率		7.3%	7.0%	5.4%	1.8%	0.1%
経常利益率	7.8%	7.2%	7.0%	5.2%	1.8%	0.1%
有利子負債比率	5%	1%	0%	22%	30%	16%
売上/従業員(百万円)	100.7188	72.9508	61.8557	40.0000	47.7099	75.1145
経常/従業員(〃)	7.8438	5.2459	4.3299	2.0714	0.8779	0.0602
利益/従業員(〃)	4.1094	2.8689	2.2680	1.0714	0.4198	0.0301

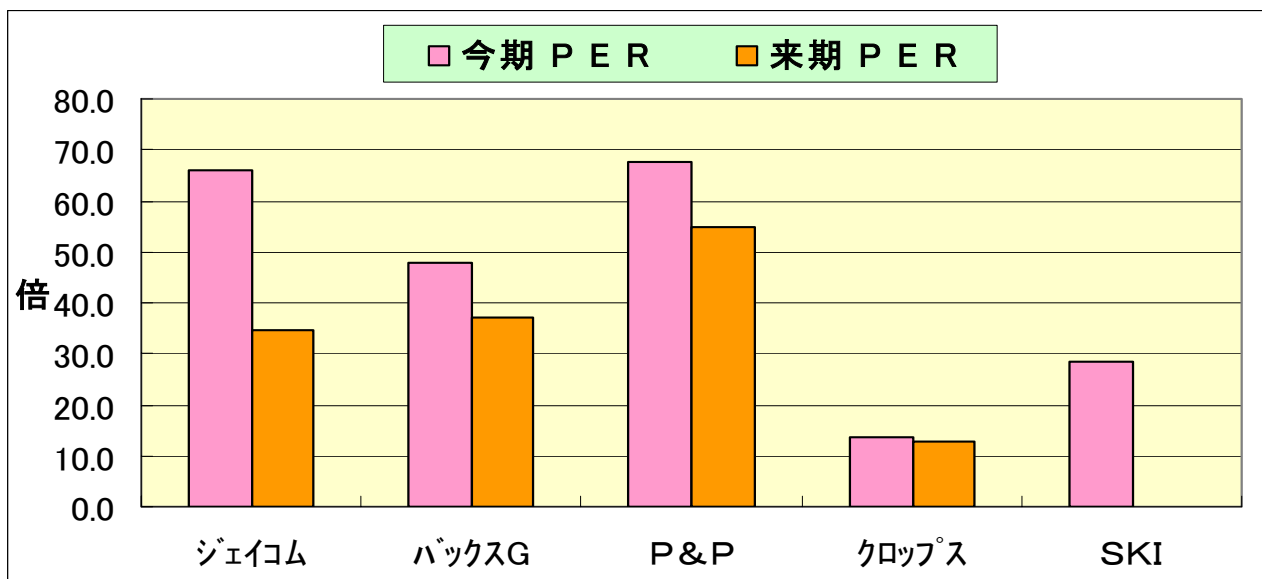
比較表と棒グラフは評価値 120 万円で作成しています。

アルファグループは 11/25 に今期業績を大幅に下方修正した為、棒グラフから外しています。

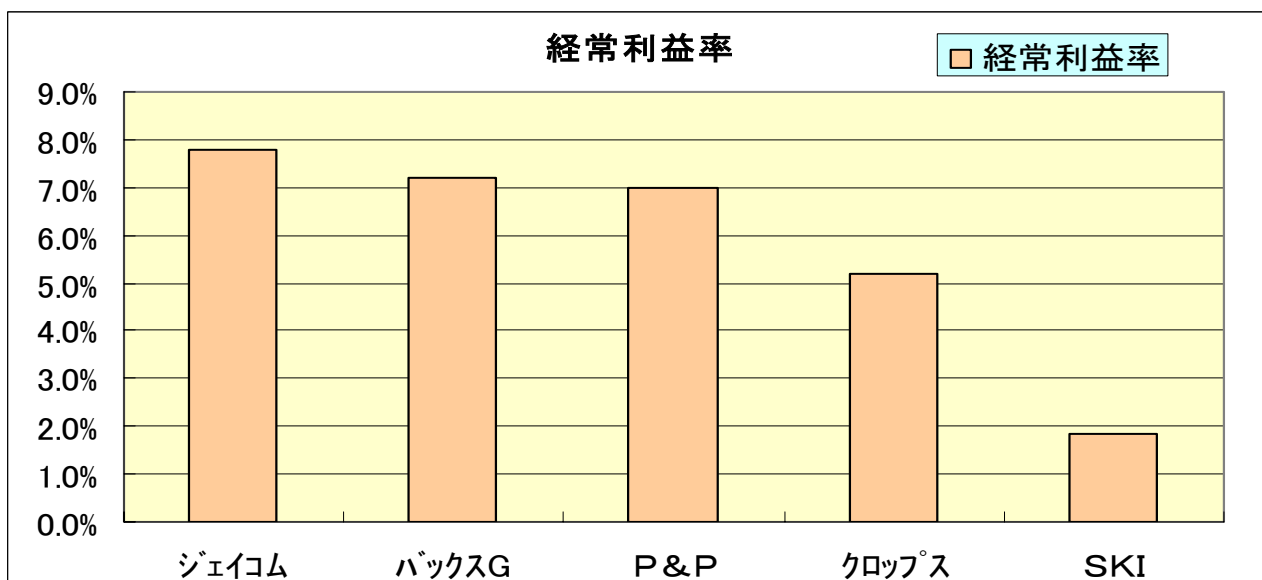
比較表のランク記号説明（単純比較に便利です）

	経常利益成長率（左）	株主資本比率（中）	配当 50 円額面換算（右）
S	毎年新たに 50%以上	80%以上	有配 30 円以上
A	毎年新たに 30%以上	60%以上	有配 20 円以上
B	毎年新たに 10%以上	40%以上	有配 10 円以上
C	過去最高益に満たない	20%以上	有配
D	経常赤字	上記以外	無配

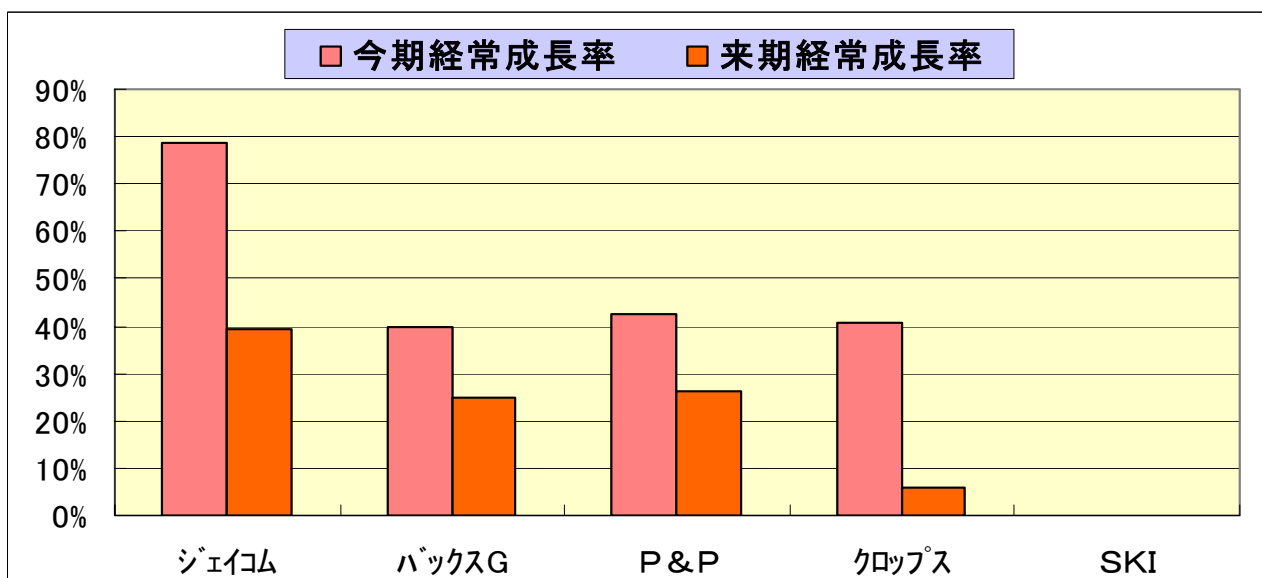
PER（株価収益率、棒グラフの低い方がリスクは少なく、上値余地がある）



経常利益率（棒グラフの高い方が、利益が出ている）



経常利益成長率（棒グラフの高い方が、成長が早い）



ブックビルディング前の初値予想

B B 前 11/20 初値予想 90 万円 ~ 130 万円

公募価格**61 万円****セカンダリーの窓****初値予想 130 万円****評価値 120 万円**

高成長銘柄で人気が非常に高く、ハイパースピードマネーが入る可能性が高い。経営者が株式を約 65% 保有するが、冷やし玉が少ない場合は初日に初値が付かない可能性が大きいと思われる。割安感の強い銘柄で、ブックビルディングでもかなり人気が高かった。可能性は少ないと思われるが、仮に 100 万円程度で寄るとストップ高となるのではないだろうか？

初値予想を 130 万円とします。

類似企業と比べて成長率が非常に高い。この事から類似企業の中では一番高い評価を受けるべき銘柄であろう。ピーアンドピーの来期 P E R 55 倍を当てはめると 189 万円が出る。バックスグループの来期 P E R 34 倍を当てはめると 128 万円となる。時価総額からもこの辺ではないだろうか。

評価値を 120 万円とします。

ブックビルダーの初値買い意欲は強い。すでに規制に向けた準備を終えているようだ。今週はこの銘柄に絞っていた方も居られた。セカンダリーに期待を持てる銘柄とか、110 万円以下希望でした。